

夢を持って夢を語り
夢のまちを目指す

登別市市制施行45周年記念事業「夢フォーラム」

11/23



▲壇上で表彰状を受け取る児童



▲飯田教授の基調講演に聞き入る参加者



▲熱のこもった議論が交わされたグループワーク



▲作文最優秀賞受賞者による作品発表の様子

11月23日(月)、市民会館で登別市市制施行45周年記念事業「夢フォーラム」(市主催)を開催しました。

このフォーラムは、市制施行50周年という大きな節目にさらなる飛躍を遂げるよう決意を新たにすることを目的に行ったものです。

札幌国際大学飯田俊郎教授いだけじろうの基調講演からフォーラムはスタート。教授より、これからの時代の協働のあり方について、実例を交えたわかりやすい説明がありました。

続いて、小・中学生から寄せられた作文とポスターの表彰式を行いました。最優秀賞や優秀賞に選ばれた、このまちの未来を担う子どもたちは、緊張した面持ちで表彰状を受け取り、その後、作文の最優秀賞受賞者が作品を発表しました。

最後に飯田教授監修のもと、市民と学生などでグループワークを実施。参加者は『5年後、夢の実現』を共通テーマに、まちづくりに向けそれぞれの立場で何ができるか、何を求めるべきかなどの議論を交わしました。



▲デンマークへの派遣で感じた思いや魅力、文化の違いなどを発表する生徒

全校生徒に向けて
デンマークでの生活を紹介

平成27年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団員による派遣報告

11/20

11月20日(金)、北海道登別市日中等教育学校の全校集会で、平成27年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団として参加した同校生徒5人による派遣報告が行われました。

全校生徒約400人が集まる中、報告会ではデンマークの文化や食生活、ホストファミリーとの交流の様子など、充実した現地での生活が紹介され、話を聞く生徒からは、日本との違いなどに驚く声が聞かれました。

全校生徒にデンマークを知ってもらおう良い機会となり、発表を終えた生徒5人は笑顔を見せていました。